



第4回学校運営協議会を2月22日（木）に本校応接室にて実施しました。

今年度、最後の学校運営協議会となりましたので、令和5年度の学校評価と令和6年度の学校運営方針について各委員から御意見をいただきました。各評価項目についての主な意見については以下のとおりです。（*Aと書かれている箇所は学校側からの回答です）

項目1 「授業第一主義の徹底とICTの活用」

高校でも「学習習慣の確立」ということを目標にしなければならないものか？学習習慣であれば、もっと早い段階（小学校など）で身に付けなければならないのではないかな？

A. 弘高の先生方は「習慣づけ」を大事にしている。新入生対象に入学後すぐに国・数・英の三教科の初期指導を行っている。初期指導の目的の一つは、「中学校の学習スタイルと高校での学習スタイルのギャップを埋めること」にある。

また、「学習習慣の確立」といっても、本校の教育目標の一つでもある「自学自習」の学習習慣のことを指しており、生徒一人一人の環境や学習状況に合ったかたちの学習スタイルとなるように個別面談などを通じて学習指導を行っている。

項目2 「豊かな人間性と社会性の育成」

部活動や弘高ねぶたなど学校の外部でも活躍する生徒が目立った。この項目の評価はもっと高くても良いのではないかな？

目立って活躍した生徒だけでなく、学校生活についていけない生徒の手立てもしっかりとやるべきである。

項目3 「キャリア教育の推進」

「自分の進路を自分で決める」という点が、弘前高校らしく、中学校までの進路指導と違う点で良い。

生徒に視野を広げさせ、様々な道を空けさせたい。将来、指導的な立場になる生徒が多様なキャリアを知らないで、偏ったキャリア観を他人に押しつけるような人にならないでほしい。

項目4 「コミュニティ・スクール導入による『社会に開かれた教育課程』の実践」

1回目の学校運営協議会で「高等学校における『地域』とは、学校所在地だけでなく『ネットワーク』である」という考えが分かりやすく、コミュニティ・スクールの在り方が明確になった。

委員の人選については、よりクリティカルな意見を言ってくれる方を選んでも良いのではないかな。臆目で見ない、外から見て意見を言う委員も選定してほしい。

この1年間、「社会に開かれた教育課程」の実践を目指し、地域の方々に支えられながら学校運営を進めることができました。どうもありがとうございました。